株主の皆様へ

第75期 事業報告

2020年12月1日⇢2021年11月30日

75

見えないけれど、
あなたのそばに

大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.
https://www.ooc.co.jp/ 証券コード 4187

株主の皆様へ

代表取締役社長　安藤　昌幸

CONTENTS

01　株主の皆様へ
03　中期経営計画
05　トピックス
06　株主アンケート結果のご報告
07　連結財務ハイライト
　　連結損益計算書
　　連結貸借対照表
08　事業分野別売上高の構成（連結）
09　会社概要
10　株式の状況
11　株主メモ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜わり有難く厚く御礼申しあげます。

当社第75期（2020年12月1日から2021年11月30日まで）の決算を行いましたので事業の概況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の全世界的蔓延の影響等により、経済活動の停滞が継続し、厳しい状況で推移しました。先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じつつ、経済社会活動のレベルが段階的に引き上げられていく中で、持ち直しに向かうことが期待されますが、資源価格の高騰等による景気の下振れリスクが高まるなど、今後の動向に注視する必要があります。

また、化学工業界におきましては、コロナ禍からの回復を背景に持ち直しの動きが継続し、需要の増加が見られております。

このような状況の下で当社グループは、2020年11月期より、長期経営計画「Next Stage 10」の後半となる、第2次5ヶ年中期経営計画をスタートさせ、その目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおります。化成品事業におきましては、選択と集中による製品の新陳代謝を図り、採算性の向上に努めるとともに、グローバルに市場が拡大するUVインクジェットプリンター向け特殊インク用原料の拡販に注力いたしました。電子材料事業におきましては、次世代半導体材料開発の強化によるトップシェアの確保及び新規ディスプレイ材料の拡販に努めてまいりました。機能化学品事業におきましては、機能性ポリマーの開発を促進するとともに、化粧品原料や高純度特殊溶剤の拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は350億2千7百万円（対前年同期比22.1%増）、営業利益は58億5千2百万円（対前年同期比31.8%増）、経常利益は62億5千3百万円（対前年同期比35.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は49億9千8百万円（対前年同期比50.9%増）となりました。

当期（2021年11月期）の配当につきましては、当初1株当たり48円（第2四半期24円、期末24円）としておりましたが、電子材料事業の販売が好調に推移したこと等により、当期純利益が大幅に向上したため、基本方針に基づき第2四半期の配当を1円増配の25円、期末の配当を1円増配の25円（年間配当50円）とさせていただきます。また、次期（2022年11月期）の配当につきましては、業績予想に鑑み1株当たり年間52円（第2四半期26円、期末26円）を予定しております。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年2月

代表取締役社長　安藤　昌幸

財務ハイライト

売上高 35,027 百万円
前年同期比 22.1%増

営業利益 5,852 百万円
前年同期比 31.8%増

経常利益 6,253 百万円
前年同期比 35.6%増

＊当期純利益 4,998 百万円
前年同期比 50.9%増

＊親会社株主に帰属する当期純利益

中長期経営計画について

会社の経営の基本方針

当社グループは、経営理念、経営ビジョン、行動指針から成る理念体系の下、当社グループ全員がそれらを理解し、目標と価値観を共有して行動してまいります。優れた生産活動を通じて地域社会の秩序を守り、社会と産業界の進歩と発展に貢献することにより、ステークホルダーの皆様の期待に応え続ける企業であることを目指してまいります。

理念体系

経営理念

わたしたちは、一人ひとりの個性を大切にし、ユニークな機能を備えた材料を提供することにより、お客様と共に社会の発展に貢献します

経営ビジョン

特殊アクリル酸エステルのリーディングカンパニーとして、グローバル市場に価値を提供する

行動指針

- わたしたちは、約束を守り、誠実に謙虚に向き合います
- わたしたちは、お互いの良さを活かし、補い合い、チームで最大限の力を発揮します
- わたしたちは、お客様のイノベーションに繋がるユニークな機能を備えた材料を提供し続けます
- わたしたちは、安全を最優先し、無事故・無災害を目指します

● キャッチフレーズ

見えないけれど、あなたのそばに

第2次5ヶ年中期経営計画（2020－2024）

◆2年目を終えて

第2次中期経営計画の開始とほぼ同じ時期に、新型コロナウイルス感染症の拡大が始まり、緊急事態宣言の発出により世界中で経済活動が停止しましたが、巣ごもり需要の拡大などにより電子材料など一部の事業は好調に推移しました。

計画2年目となる今期は、急激な経済活動再開の影響による、ナフサや原料価格の上昇・物流の混乱といったマイナスの要素もありましたが、化成品の需要回復、電子材料の旺盛な需要、頭髪用化粧品原料の事業譲受などの効果により、計画は目標を上回るほど順調に進捗しており、2024年の目標値の大部分は前倒しで達成しております。

	2019年（計画開始時点）	2021年（2年目結果）	2024年（目標）
売上高	286.3億円	350.2億円	370億円以上
営業利益	36.6億円	58.5億円	50億円以上
営業利益率	12.8%	16.7%	13.5%以上
ROE	9.7%	13.6%	10%以上
配当性向	29.2%	22.2%	30%目安
総還元性向	29.2%	22.2%	50%目標

＊2022年１月より自己株取得

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響が長期化する中、原油価格の高騰や海運需給のひっ迫による輸送の混乱等、依然として先行きの不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社グループといたしましては、2024年11月期までの第２次５ヶ年中期経営計画を基に、各事業におきましては次の課題に取り組んでまいります。

化成品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた自動車塗料用等は、回復基調で推移しており、安定供給に注力いたします。また、引き続き不採算製品の整理を行い、採算性の向上に取り組んでまいります。

電子材料事業におきましては、主力である半導体用ArFレジスト原料の拡販に努めるとともに、次世代のEUVレジスト原料においても生産体制を整えて需要に対応してまいります。また、新規ディスプレイ材料の販売の拡大を進めてまいります。

機能化学品事業におきましては、2021年２月１日に三菱ケミカル株式会社より頭髪化粧品用アクリル樹脂の製造販売事業を譲受いたしました。これにより、海外における化粧品原料の販売強化に注力いたします。また、子会社の神港有機化学工業株式会社における電子材料用溶剤の需要増加に対応してまいります。

これらを勘案し、次期業績目標は売上高330億円、営業利益59億円、経常利益61億５千万円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円を予定しております。なお、2022年11月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年３月31日）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該基準等を適用後の数値を記載しております。

当社開発品の「高伸張アクリル系エラストマーおよび伸縮性導電材料」が、第17回 JPCA賞（アワード）を受賞しました。

＜開発の背景＞

SDGsの取組みが進められる中で、UV硬化型アクリルモノマーは、硬化時に溶剤が不要であるため、VOC（Volatile Organic Compounds）の負荷を低減できる環境にやさしい材料です。

当社ではこれにいち早く着目し、1970年代後半から、UV硬化型アクリルモノマーの開発・製造に着手し、現在は更なる環境負荷低減を進めています。このコア技術であるUV硬化技術をベースに、ウエアラブル・ロボティクス分野への参入を目指し、アクリル素材の特性を充分に生かした高柔軟、高伸張性エラストマーである「Suave」シリーズを設計・開発し、更に、伸縮性導電材料である「Suave-EL」シリーズへと展開を進めています。

引き続き、社会に貢献できる製品の開発・製造に尽力してまいります。

＜JPCA賞概要＞

一般社団法人日本電子回路工業会が主催・運営する「JPCA Show 2021（第51回国際電子回路産業展）」の展示会全出展者を対象としたものです。同賞は電子回路技術および産業の進歩発展に貢献した製品・技術への表彰制度として2005年に創設され、2021年は3件が「第17回JPCA賞（アワード）」として選出されました。

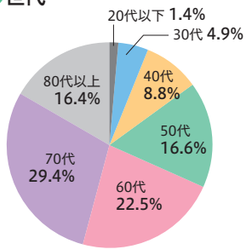
https://www.jpcashow.com/show2021/jp/event/jpca_award.html

【出展ブース】

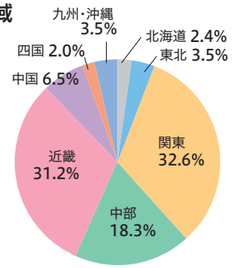
【賞状】

当社では、株主の皆様のご意見・ご要望を今後の経営やIR活動の参考にさせていただくため、株主様にアンケートへのご協力をお願いしております。今回も、2021年8月に「第75期　中間事業報告」に同封してアンケート調査をさせていただきました。その結果、全株主の10.7%にあたる523名の方からご回答をいただきました。アンケートの調査結果につきまして、その一部をご報告いたします。

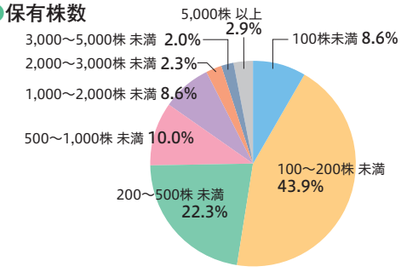
●世代



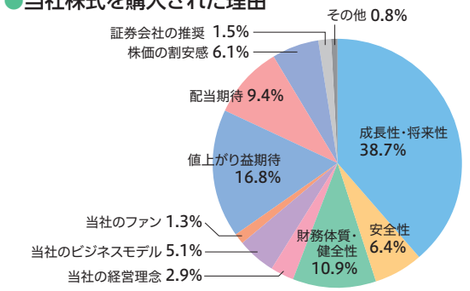
●地域



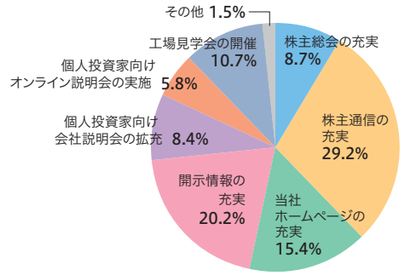
●保有株数



●当社株式を購入された理由



●今後の当社のIR活動について期待されること



今回のアンケートで皆様から頂きましたご意見・ご要望を、今後のさらなる企業価値の向上に生かすために取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

IR情報メール配信サービスのお知らせ

決算発表やニュースリリースなどの情報をメールで配信するサービスを実施しております。
当社ホームページ（https://www.ooc.co.jp/）からご登録できますので、よろしくお願いいたします。

連結財務ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

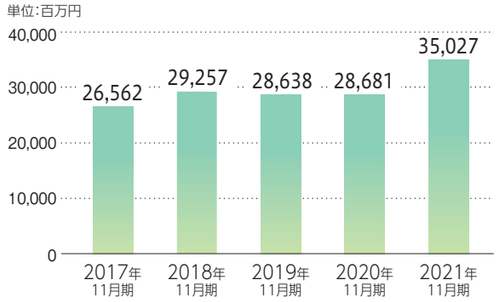
連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	前　期 自2019年12月 1日 至2020年11月30日	当　期 自2020年12月 1日 至2021年11月30日
売上高	28,681	35,027
売上原価	20,271	24,778
売上総利益	8,409	10,249
販売費及び一般管理費	3,967	4,396
営業利益	4,442	5,852
経常利益	4,612	6,253
税金等調整前当期純利益	4,590	7,177
当期純利益	3,373	5,115
親会社株主に帰属する当期純利益	3,313	4,998

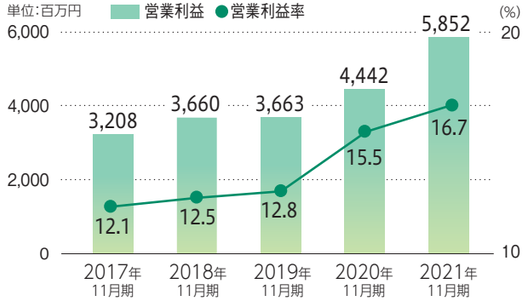
連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	前　期 2020年11月30日	当　期 2021年11月30日
資産の部		
流　動　資　産	23,134	28,088
固　定　資　産	22,189	21,779
資　産　合　計	45,324	49,868
負債の部		
流　動　負　債	7,553	8,687
固　定　負　債	2,745	2,055
負　債　合　計	10,299	10,743
純資産の部		
株　主　資　本	32,742	36,684
その他の包括利益累計額	1,915	1,961
非支配株主持分	367	479
純資産合計	35,025	39,125
負債純資産合計	45,324	49,868

売上高



営業利益・営業利益率



配　当

単位：円/株

	中 間	期 末	年間配当
2017年11月期	14	15	29
2018年11月期	17	19	36
2019年11月期	18	22	40
2020年11月期	23	23	46
2021年11月期	25	25	50

事業分野別売上高の構成（連結）

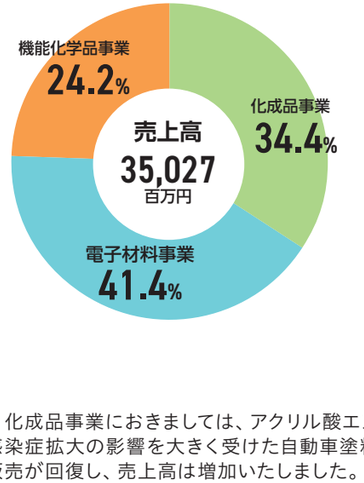
FINANCIAL DATA BY BUSINESS FIELD

売上高の構成

ヘアースタイリング剤

液晶テレビ

半導体



自動車塗料

インキ・粘接着剤

連結経営成績 ＊セグメント間取引を含まない

化成品事業

主要製品：塗料用原料　インキ用樹脂原料　粘接着剤原料

売上高 **12,057** 百万円

化成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた自動車塗料用や光学材料向け粘着剤用を中心に販売が回復し、売上高は増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、塗料や粘着剤用などの販売が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。また、売上高の増加等により、セグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は120億５千７百万円（対前年同期比22.5％増）、セグメント利益は９億３千８百万円（対前年同期比108.1％増）となりました。

電子材料事業

主要製品：表示材料関連　半導体材料関連

売上高 **14,508** 百万円

電子材料事業におきましては、半導体材料グループは、主力であるArFレジスト用原料の販売が引き続き好調に推移し、売上高は増加いたしました。表示材料グループは、テレワークやリモート授業などによるディスプレイの需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。また、売上高の増加等によりセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は145億８百万円（対前年同期比15.4％増）、セグメント利益は34億３千万円（対前年同期比14.6％増）となりました。

機能化学品事業

主要製品：化粧品基材　特殊溶剤、その他

売上高 **8,462** 百万円

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷した需要が緩やかな回復基調にあることや、2021年２月１日付で三菱ケミカル株式会社より、頭髪化粧品用アクリル樹脂の製造・販売の事業譲渡を受けたことにより売上高は増加いたしました。機能材料グループは、受託品の販売が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。また、利益率の高い製品比率の増加等によりセグメント利益は大幅に増加いたしました。この結果、売上高は84億６千２百万円（対前年同期比35.0％増）、セグメント利益は14億９千万円（対前年同期比44.9％増）となりました。

会社概要(2021年11月30日現在)

商号	大阪有機化学工業株式会社
設立	1946年12月21日
資本金	3,600,295,546円
従業員数	447名(連結)
主な事業内容	各種エステル化製品、有機合成品、特殊化学品等の製造及び販売

本社

東京オフィス

本社及び事業所

本社	大阪市中央区安土町一丁目8番15号 TEL.06(6264)5071
東京オフィス	東京都中央区日本橋本町1丁目7番2号 TEL.03(6202)7051
金沢工場	石川県白山市松本町1600-1 TEL.076(276)6261
酒田工場	山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23 TEL.0234(71)5721
大阪事業所	大阪府柏原市片山町18番8号 TEL.072(978)6261

子会社

		〈中国〉	
会社名	神港有機化学工業株式会社	会社名	光碩(上海)化工貿易有限公司
住所	神戸市東灘区住吉浜町18番地の26	住所	上海市長寧区延安西路2299号2801室
資本金	55,000千円	資本金	210,000千円
従業員数	44名	従業員数	6名
事業内容	酢酸エステル等の製造販売	事業内容	有機化学薬品関連商材の貿易・販売等

役員(2022年2月25日現在)

取締役および監査役

代表取締役社長	安藤 昌幸	
取締役	本田 宗一	(注)1
取締役	小笠原 元見	(注)2
取締役	渡辺 哲也	
社外取締役	濵中 孝之	
社外取締役	榎本 直樹	
常勤監査役	永柳 宗美	
社外監査役	吉田 恭子	
社外監査役	高瀬 朋子	

(注) 1.本田宗一は神港有機化学工業株式会社取締役を兼務しております。
2.小笠原元見は、光碩(上海)化工貿易有限公司董事長を兼務しております。

執行役員

常務執行役員	生産本部長 兼金沢工場長	榮村	茂二
*執行役員	管理本部長	本田	宗一
*執行役員	事業本部長 兼海外事業部長	小笠原	元見
*執行役員	経営企画本部長	渡辺	哲也
執行役員	技術本部長	徳田	雄介
執行役員	事業開発室長	鎮目	清明
執行役員	生産本部 酒田工場長	森	吉弘

(注)*を付した執行役員は、取締役を兼務しております。

会計監査人(2022年2月25日現在)

会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

株式の状況(2021年11月30日現在)

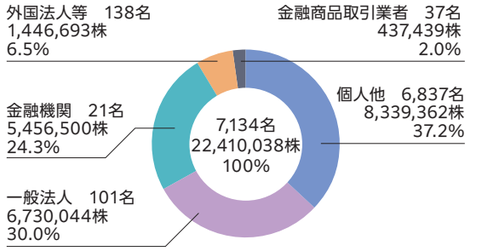
発行済株式総数	22,410,038株
議決権総数	221,431個
株主数	7,134名

大株主

株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,977千株	13.44%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,211	5.47
WesternRedCedar株式会社	1,110	5.01
JSR株式会社	700	3.16
安川 義孝	671	3.03
三菱ケミカル株式会社	651	2.94
大阪有機化学従業員持株会	598	2.70
東亞合成株式会社	521	2.35
谷川 由生子	428	1.93
東京応化工業株式会社	426	1.92

※出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(256,517株)を控除して算出しております。

株式構成



株主メモ

株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	
定時株主総会関係	毎年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日
公告の方法	電子公告 https://www.ooc.co.jp/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話　0120-094-777（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社　全国本支店
単元株式数	100株

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式事務手続き

特別口座に口座をお持ちの株主様 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定 郵便物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ	各種のお手続き、ご照会は特別口座管理機関および株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部へお問合せください。
証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

ホームページアドレス　**https://www.ooc.co.jp/**

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

FSC
www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C016722